

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

日本看護サミット2019、 訪問看護サミット2019

日時 12月6日(金) 10:00~17:00
会場 パシフィコ横浜国立大ホール
(神奈川県横浜市中区)

プログラム 解説「地域包括ケアと看護をめぐる現状と課題」
16万人で地域の看護提供体制を実現「齋藤訓子(日本看護協会副会長)／特別講演「未来の看護に望むこと」安藤和津(エッセイスト、コメンテーター)／鼎談「超高齢・人口減少社会に期待される新しい看護の形」石田昌宏(参議院議員)、鈴木康裕(厚生労働省医務技監)、辻哲夫(東京大学高齢社会総合研究機構特任教授)／シンポジウム「今、看護が創造する」つくる地域包括ケア」村田昌子(北茨城市民病院副院長)、久保幸(愛媛大学医学部附属病院看護部長)、棚橋さつき(高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科在宅看護学教授)、平原優美(あすか山訪問看護ステーション統括所長)／日本訪問看護財団事務局次長／「サミット宣言」福井トシ子(日本看護協会会長)、清水嘉子(日本訪問看護財団理事長)

参加費 当日受付7700円(税込)
定員 3200名

問 運営事務局

summi-jinu@nurse.or.jp

京都橘大学看護国際 フォーラム2019

日時 12月14日(土) 13:00~16:30
会場 キャンパスプラザ京都(京都市下京区)

テーマ ケアリングとテクノロジー——看護の未来を考える
講師 Locsin, Pozzano De Castro (Professor of Nursing at Tokushima University, Professor Emeritus of Florida Atlantic University)、森川悦明(グッドタイムリビング取締役社長)
対象 看護職、介護職、医療関係者(学生可)
受講料 1500円(税込)
定員 250名(先着順)
申込方法 左記ホームページの申込フォームより
問 京都橘大学エクステンションセンター(学術振興課)
〒607-8175
京都府京都市山科区大宅山田町34
☎ 075-574-4186
FAX 075-574-4149
✉ aca-ext@techbana-u.ac.jp
https://www.techbana-u.ac.jp/research_area/extension/2019/03/2019-7.html

第26回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会

日程 12月14日(土)~15日(日)
会場 富士急ハイランドリゾートホテル&スパ、富士吉田市民会館・ふじさんホール(ともに山梨県富士吉田市)

テーマ 「ねがい」——富士の麓で我が道をデザインする
プログラム 基調講演 鈴木秀子(聖心女子大学キリスト教文化研究所)／朗読座公演 紺野美沙子、中村由利子／講演「がん向き合う——自分の身体と時間を大切に」向井亜紀／鼎談 山崎章郎(ケアタウン小平クリニック院長)、二ノ坂保喜(にのさかクリニック院長)、米澤慧(作家・評論家)
参加費 当日登録7000円、懇親会6000円、抄録集1000円
問 山梨県介護支援専門員協会事務局
〒400-0047
山梨県甲府市徳行5-13-5 山梨県医師会館1階
☎ 055-2222-1661
FAX 055-2222-1671
✉ yamanashi-cma@hop.ocn.ne.jp
http://www2.toshiseikatsu.net/hospice/

2020年度木村看護 教育振興財看護研修等 助成募集

【海外看護研修助成】

研修先 メイヨークリニック(米国ミネソタ州ロチェスター)
応募資格 次のいずれにも該当する者
①日本在住で看護師・助産師・保健師のいずれかの資格をもっていること
②看護実務経験が5年以上あり、現在、臨床の現場に従事していること
③心身ともに健康であること
④関係所属長の推薦があること
⑤TOEIC 600点以上、TOEFL の所定の点数(CBT 173点以上またはIBT 61点以上)またはIELTS 5.0点以上をもっていること

※研修には通訳は付かないので、日常会話と看護の専門分野の英語力が必要
募集人員 10名
研修方法 研修者の目的に応じた個別プログラムに沿った講義、実習および見学による研修
研修時期・期間 2020年9月中旬から渡航日数を含めて約3週間
助成範囲 研修費、宿泊費、羽田空港発着の往復渡航費

応募方法 左記ホームページより

「2020年度 海外看護研修助成申込書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、本財団に郵送。応募資格⑤に記載している英語力を示すスコア証明書の写しを同封すること

※選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒(84円切手貼付)を同封のこと

【看護研究助成】

助成対象 看護の質的発展・充実が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究歓迎

2020年度助成する研究の分野

基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、その他

応募資格・要件

①日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人、または前者を共同研究者に含むグループ

※右記の要件を満たしていない場合は受け付けない(名前だけの看護職者の共同研究者は認めない)
※教員・大学院生のための申し込みは対象とならない

②倫理的に許される研究であること

③関係所属長の許可・推薦があること

④研究の成果は関係学会へ発表すること

助成金額 1件につき100万円を限度

助成金の使途および報告

①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人員費は対象から除外(ホームページの別紙「研究助成費目一覧」参照)

※助成金は年度を超えて支出してもかまわない

②助成金の使途については、正規の報告書とともに報告してもらう。なお、必要に応じて領収書等を添えて詳細な報告をしてもらうことがある

応募方法 左記ホームページの「2020年度 看護研究助成申込書」に必要事項を記入のうえ、本財団へ郵送

※選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒(84円切手貼付)を同封のこと

助成金の贈呈 6月中旬予定

※助成が決定した研究の代表者は後日「助成金交付請求書」を提出

研究成果の報告 研究の成果および助成金の使途状況について、

2021年9月30日までに本財団所定の様式により報告。研究成果は、2022年7月頃に発行予定の「木村看護教育振興財団」2020年度看護研究助成事業「看護研究集録29号」に掲載。本研究の成果を関係学会等に発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団助成による研究である旨を明記のこと。また、研究報告書の学会誌等への投稿は、当財団の看護研究集録28号に掲載し発行された後で行うこと

【専門看護師(CNS)奨学金】

募集分野 2019年9月時点で公益社団法人日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の13専門看護分野について募集

がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護

支給対象者 看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程2年コースの2年次進級予定者で、次の①②を満たしている者

①大学院は、日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者

②臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給額 年額60万円

支給期間 1年間(4月から翌年3月まで)

支給条件 看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で2021年3月に同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に2年以上就業することを確認できる者。ただし、支給条件に反した場合には、奨学金の返還を求める

奨学金申請手続きに必要な書類

①本人記載の申請書

②専門看護師としての将来展望抱負

③1年次前期の成績証明書

④指導教員の推薦書

⑤3年以上の実務経験(すべてを証明する書類)

※②の書面の様式は自由。ワープロ1200字程度を上限にA4版で記載すること

※③④についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

※⑤については左記ホームページより必要用紙等をダウンロードして使用のこと

※要綱、応募用紙は左記ホームページ申請書申込フォームよりダウンロードして使用のこと

※選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒(84円切手貼付)を同封のこと

こと

奨学金受給者の事後報告義務等

証明に関するものは、その都度速やかに提出すること

①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの

②専門看護師の認定を証明するもの

③就業先の在籍を証明するもの

④氏名や住所等の変更

【共通】

申込締切日 2020年1月23日(木) 必着

選考結果 3月下旬に通知

問い合わせおよび申込書送付先 公益財団法人木村看護教育振興財団

〒113-0033

東京都文京区本郷5-25-14

8階

☎03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉kimura-info@nurseed.jp
http://www.nurseed.jp/